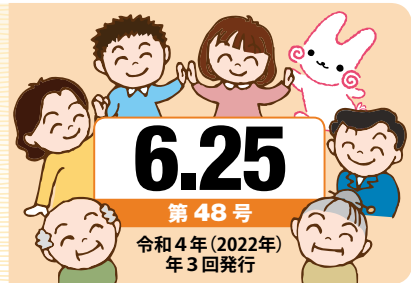


立川市教育だより

たっち

●今号の主な内容
 2面 … 令和4年度教育委員会の主要な事業
 3面 … たちかわ電子図書館を使ってみよう！/ 学校閉庁日のお知らせ
 4面 … 新学校給食共同調理場の整備/ 立川市の歴史と文化財

編集・発行/立川市教育委員会
 〒190-8666 立川市泉町1156-9
 ☎042(523)2111(市役所代表)
 立川市ホームページ
<https://www.city.tachikawa.lg.jp/>



たっちの発行は年3回です。次号の発行は令和4年11月10日です。

令和4年度

教育委員会の主な取組を紹介します

立川市教育委員会は「まちづくりは人づくり、人づくりは未来づくり、未来づくりは学校から」の理念のもと、ネットワーク型の学校経営システムを展開し、教育の充実に向け取り組んでいます。その取組のうち、令和4年度の主な取組を紹介します。

☎教育総務課庶務係・内線2464、2465

教育委員会の他の取組は2面へ

新学校給食 共同調理場の整備

新学校給食共同調理場の建設工事や運営準備業務等の進捗確認を行います。また、配送対象校となる一小〜八小と中学校全校での共同調理方式の給食運営開始に向けて、学校施設の改修工事を順次進めていきます。詳細は4面をご覧ください。



新学校給食共同調理場のイメージ図

立川市民科の教科化

主体的に地域と関わり、地域に根差した探究的な学習を深めることにより、地域を大切にしたい思いを育み、新たな未来を拓いていく、よりよい社会の担い手を育成することを目的とした学びである立川市民科を教科化しました。探究的な学びを通して、子どもたちの学習意欲を高め、地域の活性化を図ります。



新生小第5学年
「富士見町にホテルを戻そう」

不登校対策のさらなる充実

スクールソーシャルワーカーを増員して教育支援センターの機能強化を図り、相談機能を充実させます。「学校に登校する」ことだけを目標とせず、タブレットPCを活用した学習機会の確保や、自らの進路を主体的に捉えて社会的に自立することを目指す支援を行います。



指導風景



教育長就任のあいさつ



教育長
くりはら ひろし
栗原 寛

皆様こんにちは。令和4年4月1日付で教育長に就任いたしました栗原寛です。私は平成25年度から30年度までの6年間、教育部管理職として教育行政に携わってまいりましたので教育委員会は4年ぶりとなります。

さて、児童・生徒が地域と関わり、地域を題材として学ぶ「立川市民科」が文部科学省から教育課程特例校の指定を受け、令和4年度に正式の「教科」となりました。「立川市民科」で目指す児童・生徒像は「地域を知り、地域を大切にしたい思いを育み、世界を見つめ、未来を拓いていく児童・生徒」、「地域と関わり、主体的に考え、行動し、よりよい地域づくりに参画しようとする児童・生徒」です。保護者の皆様、地域の皆様のご協力をいただき、各小・中学校がその地域の特色を生かした学びに取り組んでまいりますので注目ください。

現在も新型コロナウイルス感染症による影響が続いており、児童・生徒の学びの継続が大きな課題となっております。私はこれまでの行政経験等を生かし、また課題に正対し微力ですが、立川市の教育が少しでも前に進むよう努めてまいります。

市民の皆様には本市の教育に対する変わらぬご支援をお願いし、簡単ですがあいさつとさせていただきます。よろしくお願ひします。